

アクラス研修会のお知らせ（12月）

「持続可能性（sustainability）を視野に入れた 日本語教育～アクターとして問われる資質」

◆日時：2015年12月4日（金）18：30～20：30

◆講師：宮崎里司（早稲田大学大学院教授）

＜講師からのメッセージ＞

サステナビリティ学（Sustainability science）とは、持続可能な社会を構築するために提唱された文理融合の超学分野である。日本が、移民社会や多文化共生社会をめざす上で、日本語教育が果たす役割は大きい。こうした持続可能な社会を視野に入れた、新たな日本語教育学研究が望まれている。発表者は、EPAの外国人医療福祉候補者、夜間中学に外国人在籍者、外国人技能実習生や、外国人受刑者が抱える日本語教育の課題を、産学官連携の立場から取り組んできたが、今後の言語政策の課題について問題提起したい。

■場所：アクラス日本語教育研究所

（中野駅南口3分、詳しくはHPをご覧ください）

<http://www.acras.jp/>

■定員：20名（先着順とします）

会員でない方は、参加申し込みと同時に会員登録をお願いします。

会員登録 http://www.acras.jp/?page_id=878 →入会金・年会費無料

なお、会員登録後、研修会等の情報をMLにてお知らせ致します。

■受講料：無料（ただし、資料代および茶菓代として500円いただきます）

■申し込み：http://www.acras.jp/?page_id=897